Creative Enzymes®

ネイティブフラボバクテリウム・ヘパリナムコンドロイチナーゼAC

Cat. No. NATE-0126

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	フラボバクテリウム・ヘパリナム由来のコンドロイチナーゼACは、ヘキソサミンとグルクロン酸残基の間に(1-4)結合を持つ硫酸化および非硫酸化ポリサッカライド鎖を脱離機構によって切断する酵素です。得られるオリゴ糖産物は主に不飽和ウロン酸を含む二糖類です。コンドロイチナーゼACはコンドロイチン硫酸AおよびCを特異的に分解しますが、コンドロイチン硫酸B（デルマタン硫酸）には作用しません。
用途	Creative Enzymesのコンドロイチナーゼ ACは、デマタン硫酸における構造および配列モチーフの研究中に、グリコサミノグリカン（GAG）フラクションの大規模調製に使用されました。
別名	EC 4.2.2.5; 9047-57-8; コンドロイチンACリアーゼ; コンドロイナーゼ; コンドロイチン硫酸リアーゼ; コンドロイチンACエリミナーゼ; コンドロイチンACリアーゼ; コンドロイナーゼ AC; ChnAC

製品情報

由来	フラボバクテリウム・ヘパリナム
形態	凍結乾燥粉末。
EC番号	EC 4.2.2.5
CAS登□番号	9047-57-8
活性	0.5-1.5 ユニット/mg 固体（基質としてコンドロイチン硫酸Aを使用し、コンドロイチン硫酸Cも切断します）
緩衝液	0.02 M リン酸緩衝液: 可溶性 (pH 7.0)
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 7.3の条件下でコンドロイチン硫酸Aから不飽和二糖が放出されることにより、1分あたりΔA232が1.0を引き起こします。反□体積：3.1 ml（光路1 cm）。

保管・発送情報

保存方法	−20°C